

新たな挑戦を仲間と！【3学期始業式】

【式に先立って】

1月1日に能登半島地震、それから2日には羽田空港での飛行機事故と多くの方が犠牲となる災害、事故が発生しました。犠牲となられた方々のご冥福をお祈りして、全校で1分間の黙祷をします。 黙祷

被災地では、今も余震が続いており、避難場所で困難な生活をしている方も多くおられます。一日も早い復興、安心した日常生活を取り戻せることを祈るばかりです。

さて、今回のことで、地震発生後の避難や救助に「2011年の東日本大震災の教訓が生きている」、飛行機事故においても「着陸後、18分で379人が脱出に成功したのは日頃の訓練の成果である」との報道がありました。

改めて防災教育や避難訓練の重要性を感じます。災害や事故は、個人の努力では避けられない部分もあります。しかし、日頃からの備え、正しい情報・知識、加えて訓練の実績があれば、被害や損害を最低限に抑えることはできます。

自分の命も他人の命も大切に。とにかく命を守る。その意識を持って日々の生活を大切にしたい歩みをしていきましょう。

【始業式】

皆さんが元気で今日この場に集まっていること、そのことが何より大切に嬉しいことです。

さて、今年は辰年です。辰年は、勢いよく活気あふれる年、昇り竜のように力強く成長していく年と言われます。

2024年が南中生にとって、活気あふれるそして大きな成長の年になることを期待します。

今日は、皆さん一人一人が、新年の決意を胸に、始業式を迎えていると思います。その気持ちを大切にしてください。新年にあたり、自分自身の向上のために既に新しい努力を始めた人、ぜひ継続してください。続けることで、習慣化させ、成長の礎を築いてください。

特に3学期は、各学年のまとめの学期であり、次のステージへ進むための準備をする学期でもあります。また、学期の中で一番短い学期でもあります。授業日数を確認したところ、1、2年生は51日、3年生にとってはわずか42日です。

そこで、これから話す、3つのことを受け止めて、実行して欲しいです。

1つめは、学校として目標としてきた「未知の世界に勇敢に挑戦することを楽しめる志と心豊かな生徒」の意味をもう一度考えて、そうありたいという意識を持って、日々を過ごして欲しいということです。

2つめは、人と人のつながりを大切にすることです。今のクラスで仲間と過ごす大切な、そして限られた一日一日になります。仲間や周囲の人に心を配り、思いやりのあるあたたかい言葉をかける人であってほしいと思います。仲間との協働や学びで得られた絆を大切に、悔いのないように毎日を過ごしてほしいです。そういった人と人のつながりを大切にできることが、今後、社会の形成者として、平和や安全な社会を追求していくときの大きな力になります。

そして、3つめは、学年の仕上げをしっかりとしてほしいと考えています。

3年生には、進路の決定に向けて、全力で悔いのない挑戦の継続を、2年生には、南中の伝統をしっかりと受け継ぎ、南中をリードする学年としての責任を果たすことを、そして1年生には、3ヶ月後には新生を迎えるので、真の意味で先輩と呼ばれる学校生活やより高みを目指した行動ができることを目指して取り組んで欲しいと思います。

それでは、それぞれが「学校目標」・「人と人のつながり」・「学年の仕上げ」を意識して、南中生としての自覚と誇りを持った行動をお願いします。学校全体としてレベルアップし、大きく成長する3学期になることを期待して、始業式の挨拶とします。

令和6年1月9日

南部中学校長 滝川 尚

式の後、当初のスケジュールを変更して、地震・津波を想定した緊急避難訓練を実施しました。運動場への1次避難後、津波を想定して、校舎4階まで移動。生徒たちは引き締まった表情で真剣に訓練をしました。ご家庭でもお子様と一緒に各地域の指定避難場所の確認や安否確認の方法等について話し合いをしていただければと思います。

